令和4年度（2022年度）
第3次枚方市男女共同参画計画改訂版
アクションプログラム進捗状況

令和４年度（2022 年度）の男女共同参画に関わる主な
事業の実施状況を５つの基本目標ごとにまとめました。

令和5年（2023 年）●月

枚　方　市

目次

Ⅰ　アクションプログラムの概要 1
1.　アクションプログラムの位置付け及び期間 1
2.　　第3次枚方市男女共同参画計画改訂版の体系 1
Ⅱ　令和4年度の進捗状況 2
基本目標1　人権尊重と男女共同参画への意識改革 2
基本目標2　男女共同参画を阻害する暴力の根絶 4
基本目標3　仕事と生活のあり方をさまざまに選択できる社会づくり 5
基本目標4　だれもが安心して暮らせるまちづくり 6
基本目標5　男女共同参画を推進する体制の整備 7
全課を対象とした取組について 8
参考資料 9
男女共同参画の視点チェックシート 9
第3次枚方市男女共同参画計画改訂版指標の推移 11

■　アクションプログラムの令和4年度取組実績一覧は別冊に掲載しています。

Ⅰ　アクションプログラムの概要

1．アクションプログラムの位置付け及び期間

第３次枚方市男女共同参画計画を推進するため、具体的な取組をアクションプログラムとして定め、計画的に展開。計画期間の平成 28 年度（2016 年度）から令和７年度（2025 年度）までの 10 年間において、アクションプログラムを前期と後期の５年ごとに策定。

年度	H28 年度（2016）	H29 年度（2017）	H30 年度（2018）	R1年度（2019）	R2年度（2020）	R3年度（2021）	R4年度（2022）	R5年度（2023）	R6年度（2024）	R7年度（2025）
第 3 次枚方市男女共同参画計画	←									→
第 3 次枚方市男女共同参画計画アクションプログラム	←		前期		→	←		後期		→

2．第3次枚方市男女共同参画計画改訂版の体系

男女共同参画社会の実現に向けた本計画の基本理念

すべての市民に関わる課題としてとらえること	一人ひとりが、自ら、さまざまな選択ができること	あらゆる人権侵害を許さないこと	仕事と生活の調和の実現を図ること

基本目標	基本方向
基本目標1 人権尊重と男女共同参画への意識改革	（１）男女共同参画への理解促進 （２）子どもの頃からの男女共同参画の推進 （３）男女共同参画の視点に立ったメディア・リテラシーの向上 （４）性の多様性への理解促進
基本目標2 男女共同参画を阻害する暴力の根絶	（１）男女共同参画を阻害する暴力を許さない社会づくり （２）暴力の予防に向けた子どもの頃からの啓発の推進 （３）被害者支援体制の充実
基本目標3 仕事と生活のあり方をさまざまに選択できる社会づくり	（１）子育てと介護への支援 （２）就業、起業、再就業への支援 （３）雇用における男女の均等な機会及び待遇の確保 （４）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）への理解の促進
基本目標4 だれもが安心して暮らせるまちづくり	（１）生涯を通じたすべての人の健康保持と増進への支援 （２）ひとり親家庭をはじめ、多様な家族に関する啓発、支援の取組 （３）高齢者、障害者、外国人市民等への支援 （４）男女共同参画の視点に立った防災など地域活動の推進
基本目標5 男女共同参画を推進する体制の整備	（１）政策及び方針決定過程における男女共同参画の推進 （２）男女共同参画の視点に立った施策展開 （３）関係機関や市民団体等との連携強化 （４）意見等の申出及び人権侵害相談体制の充実

Ⅱ　令和4年度の進捗状況

基本目標1　人権尊重と男女共同参画への意識改革

1　審議会[1]の意見を踏まえた令和4年度の取り組み

「若年層への教育の重要性という観点から、成果に結びつくような保育士や教職員への研修の実施が必要」との意見を踏まえ、市内の保育士、幼稚園教諭等を対象とした研修を実施し、「その子らしさを尊重する保育」の重要性について学ぶ機会を設けた。受講者からは、「今後に役立てたい」という感想が聞かれるなど、実際の保育に活用することができる取り組みとなった。

また、小学校におけるDV予防教育プログラムでは、毎年、実施校の教職員を対象に「子どもの育ちとジェンダー規範」をテーマにした研修会を実施しており、令和３年度においても、DV予防教育プログラムに参加した児童・生徒に適切なフォローをしてもらえるように働きかけを行った。

2　主な取組（取組実績一覧：別冊P1～P5）取組1～17

■　男女共同参画への理解促進

・　男女共同参画週間事業として、ジェンダー平等を阻害する一因となる「アンコンシャスバイアス」に関する動画による講座（参加人数161人）を開催し、男らしさ、女らしさなど固定的な性別役割分担意識の解消に向けた取り組みを行った。

・　身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえた女性の負担軽減を目的として、市庁舎等の女性用トイレにおいて生理用品の配置に向けた実証実験を実施した（次頁参照）。

■　性の多様性への理解促進

・　市民を対象に、幼少期におけるトランスジェンダーと家族の関わりを描く映画「リトル・ガール」（参加者106人）の上映会を実施し、性的マイノリティ当事者が抱える生きづらさや一人ひとりができることについて啓発を行った。

・　「枚方市パートナーシップ宣誓制度」[2]において、制度利用者の府内での住所異動に伴う手続の負担軽減を図るため、同様の制度を実施している大阪府及び府内７市とパートナーシップ宣誓制度の自治体間連携協定を締結した。

映画「リトル・ガール」チラシ

大阪府パートナーシップ宣誓証明制度チラシ

---

[1] 枚方市男女共同参画推進審議会

[2] 一方または双方が性的マイノリティであるカップルが、互いを人生のパートナーとすることを宣誓した事実を公に証明する本市の制度

3 主な参考指標（取組実績一覧：別冊P1～P5）

事務事業実績測定指標					該当有
事務事業名称	男女共同参画啓発事業				
所管課	人権政策室				
指標種類	増加することが良いとされる指標				
指標説明	イベントに参加し、男女共同参画の理解が深まったと答えた人の割合【算出式：アンケートにより理解が深まったと回答した人数/アンケート回答者数×100】				
目標（見込み）	実績				
	R3	R4	R5	R6	R7
90%	90.50%	86%			

取組名：1　男女共同参画啓発事業

動画講演会において、「男女共同参画の理解が深まらなかった・どちらでもない」と回答した人の主な理由

・本で読んでいた以上の、特に新たな気付きはなかったから。（深まらなかった）

・男女共同参画という枠よりも、「人間として」考えたいと思った。（どちらでもない）

事務事業実績測定指標					該当有
事務事業名称	性的マイノリティ支援事業				
所管課	人権政策室				
指標種類	増加することが良いとされる指標				
指標説明	LGBTなど性的マイノリティに対する理解が深まったと答えた人の割合【算出式：アンケートにより理解が深まったと回答した人数/アンケート回答者数×100】				
目標（見込み）	実績				
	R3	R4	R5	R6	R7
90%	85%	98.8%			

取組名：14　性の多様性に関する理解の促進

映画「リトル・ガール」上映会後アンケート結果

※事務事業実績測定とは、事務事業ごとに行政活動に投入したコストや人員、施策目標の達成に向けての実績度を把握するために本市の全事務事業において毎年度実施しており、第3次枚方市男女共同参画計画の参考指標としています。

4 審議会の意見

生理用品無償配置実証実験

toreluna(トレルナ)（スマートフォンアプリを使用）（令和４年 6月 24 日～9月 20 日）

段ボール製ディスペンサー「MeW ディスペンサー」（令和４年 10 月3日～11 月 30 日）

段ボール製ディスペンサー「MeW ディスペンサー」

・大阪大学大学院人間科学研究科で開発(特許出願中)。

・大阪大学キャンパス内で順次展開中。

・市庁舎での設置は枚方市が初。

・生理用ナプキンとタンポンを配置。2種類設置することで利用者が自分に合った生理用品を選択できるようにした。

・利用者からは、「突然月経が始まったときに簡単に生理用品が取り出せた」と好評。

・令和５年４月より、市役所本庁本館・別館の女性用トイレと多目的トイレに設置。市内施設に順次拡大予定。

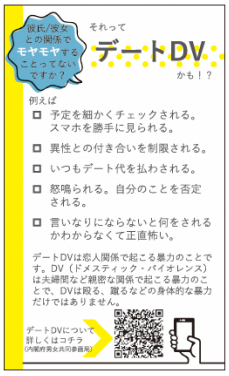
１ 審議会の意見を踏まえた令和4年度の取り組み

「社会のあらゆる暴力根絶を目指すことも必要ではあるが、とりわけ性別や年齢などで弱者に当たる者に対する暴力が問題になる」との意見を踏まえ、児童虐待防止や DV 防止に向けた啓発及び相談窓口周知において効果を高めるために、インターネットやSNSを活用しました。SNS を活用し実施した、子育て支援に関する動画配信講座には、300 名の申込があるなど、広く市民に周知を行うことができ、児童虐待予防につなげることができた。

２ 主な取組（取組実績一覧：別冊P6～P12）取組 18～41

■　男女共同参画を阻害する暴力を許さない社会づくり

・　若年層に対する交際相手からの暴力（デート DV）の防止啓発として、デート DV 啓発カードを刷新し、市内高等学校に配布、チャットでも相談できる DV 相談＋の周知に努めた。また、しおり型の相談窓口案内カードを新たに作成し、市内の図書館等に配置し、若年層への窓口周知に努めた。



デート DV 啓発カード

■　暴力の予防に向けた子どもの頃からの啓発の推進

・　DV の被害者も加害者も生み出さないために、小学校4年生を対象とした DV 予防教育プログラム「わたしもぼくも☆みんな活き活き」を 10 校（653 人）、中学校を対象にデート DV 予防教育プログラムを 9 校（1521 人）で実施した。また、小学校実施校においては放課後に教職員研修（10 校、226 人）を実施した。

３ 主な参考指標（取組実績一覧：別冊P6～P12）

事務事業実績測定指標					該当有
事務事業名称	ＤＶ防止事業				
所管課	人権政策室				
指標種類	減少することが良いとされる指標				
指標説明	「暴力は受ける側にも問題や原因があると思う」と答える中学生の割合【算出式：アンケートにより暴力は受ける側にも問題や原因があると思うと回答した人数/アンケート回答者数×100】				
目標（見込み）	実績				
	R3	R4	R5	R6	R7
50%	53%	50%			

取組名：18 DV 等の男女共同参画を阻害する暴力の防止啓発事業

中学生を対象とした「デート DV 予防教育プログラム」実施校でのプログラム事前アンケート結果

４ 審議会の意見

１ 審議会の意見を踏まえた令和4年度の取り組み

「保育所（園）、幼稚園への入所、入園において、土日の窓口対応の拡充など共働き世帯への配慮が必要」との意見に関して、日曜相談（毎年１回）の実施や休日に市内3か所で出張受付を行うほか、平日の来所が困難な方には、可能なものは郵送や電子申請を案内するなどの配慮を継続して行った。

また、「コロナ禍における、事業者への啓発に関する課題」については、令和4年度より、北大阪商工会議所が運営するメールマガジンに「改正育児・介護休業法」や本市作成の「性の多様性を理解するための事業者向けハンドブック」に関する情報を掲載し、市内事業者への周知を図った。

２ 主な取組（取組実績一覧：別冊P13～P19）取組42～70

■ 子育てと介護への支援

・ 待機児童の解消に向けて、私立保育所等の３施設において施設整備を行い、令和４年度に 75 名の定員増を図った（令和３年度は 40 名増）。

・ 一時預かり事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたが、令和４年９月から導入した、リフレッシュを目的として一時預かりを利用する際に利用できる２日間分のリフレッシュ券の効果もあり、利用者数は令和３年度より増加した。

・ 留守家庭児童会室の受入体制の確保や令和５年度から新規で実施する「放課後オープンスクエア」の準備に取り組み、令和５年１月 31 日時点の申請児童全員の入室を決定した。

■ 仕事と生活の調和（ワーク･ライフ･バランス）への理解の促進

・ 市の男性職員の育休取得促進として、「男性職員の育児にかかる休暇・休業リーフレット」や庁内報「ワーク・ライフ・バランス通信」の発行、「子育て支援・介護のための休暇・休業ガイドブック」の改定を行うことで、計画年休取得や男女を問わない育児に係る休暇取得を促進するなど、ワーク・ライフ・バランスの推進や子育てにやさしい職場づくりに取り組んだ。

子育て支援・介護のための休暇・休業ガイドブック

３ 主な参考指標（取組実績一覧：別冊P13～P19）

事務事業実績測定指標					該当有
事務事業名称	一時預かり補助事業				
所管課	私立保育幼稚園課				
指標種類	増加することが良いとされる指標				
指標説明	一時預かり事業延べ利用者数 （第2期子ども・子育て支援事業計画の目標事業量）				
目標（見込み）	実績				
	R3	R4	R5	R6	R7
24,489人	14,420人	18,964人			

取組名：43　一時預かり事業

４ 審議会の意見

１ 審議会の意見を踏まえた令和4年度の取り組み

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）への理解促進に向けて、子どもの頃からの連続した教育が必要である」との意見を踏まえ、中学校におけるデート DV 予防教育プログラムでは、セクシュアルライツ（性のあり方を自分で決められる権利）を基本とした出前授業を実施し、性教育のカリキュラムの一環として活用した。また、市内の大学でのフェアにおいて、クイズ形式のパネルを出展し、参加者には HIV、AIDS 等の啓発グッズ（ボールペンとコンドーム）を渡すなど、若年層への啓発に取り組んだ。

２ 主な取組（取組実績一覧：別冊P20～P30）取組71～116

■　生涯を通じたすべての人の健康保持と増進への支援

・　自殺予防対策事業については、枚方市社会福祉協議会へ委託し、電話相談事業（ひらかた いのちのホットライン）や人材育成事業として電話相談員対象のフォローアップ事業、普及啓発事業として講演会、リーフレットの配布、枚方市駅構内でのデジタルサイネージを実施。また、ゲートキーパー養成研修（令和４年度１回）を実施し、広報や SNS 等での普及啓発を行った。令和２年からの新型コロナウィルス感染拡大の影響により、全国的に自殺者数が増加しているため、引き続きゲートキーパー養成研修の実施や各種相談窓口の周知などに努めるとともに、策定中の令和６年度を始期とする第２期計画において、各種支援等を検証中である。

・　母子訪問指導事業（妊産婦訪問、新生児・乳幼児訪問、乳幼児健診未受診者訪問等）に加えて、出産子育て応援事業として令和５年２月から、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じる「伴走型相談支援」と、経済的支援として「出産・子育て応援ギフト」の支給を一体的に実施した。

子育て応援ギフトチラシ

３ 主な参考指標（取組実績一覧：別冊P20～P30）

事務事業実績測定指標					該当有
事務事業名称	自殺予防対策事業				
所管課	保健医療課				
指標種類	減少することが良いとされる指標				
指標説明	自殺死亡率 【算出式：自殺死亡数／人口×１０万】				
目標（見込み）	実績				
	R3	R4	R5	R6	R7
11.0以下	14.20%	14.80%			

取組名：76　自殺予防対策事業

４ 審議会の意見

１ 審議会の意見を踏まえた令和4年度の取り組み

「女性管理職が増えないのは、個人の問題というより、社会全体の仕組みの問題があるのではないか」という意見を踏まえ、本市においては、採用時の女性比率の向上に向け、ホームページにおいて、ロールモデルとなる女性管理職員へのインタビューや活躍事例を紹介したほか、採用セミナーでは、男性の育児休業の取得実績や取得促進の取り組み、年次有給休暇の取得実績について PR するなど、性別に関係なく、ライフステージに合った働き方のできる職場であることを PR した。

また、女性管理職の比率向上に向けては、女性のキャリア形成を考えるキャリアデザイン研修などを実施し、管理職の魅力ややりがいのアピールや、キャリアアップへの不安解消など、多くの女性職員が昇任意欲を持てるような取り組みを実施した。

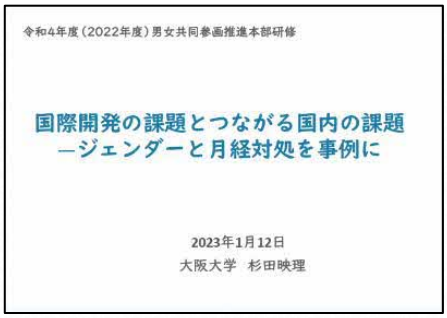
２ 主な取組（取組実績一覧：別冊P31～P33）取組117～128

■　政策及び方針決定過程における男女共同参画の推進

・　全ての審議会における女性委員の比率を 35%以上にすることを目標としており、全審議会のうち女性委員比率 35%を達成した審議会は令和４年度は 68.1%と、令和３年度の 55.3%よりも増加したが、女性委員が全くいない審議会が４つあった。

■　男女共同参画の視点に立った施策展開

・　本市の男女共同参画に係る新たな取り組みとなる、生理用品の市庁舎等への無償配置について、男女共同参画推進本部員、同本部幹事及び男女共同参画推進担当者への周知と理解促進を図ることを目的に研修会を実施した。



男女共同参画推進本部研修資料

３ 主な参考指標（取組実績一覧：別冊P31～P33）

【参考】女性管理職人数（小学校 44 校、中学校 19 校）

※管理職の任免は任免権者である大阪府教育委員会が行う。

	R3	R4	R5	R6	R7
小学校校長	9	10			
小学校教頭	9	12			
中学校校長	4	4			
中学校教頭	5	6			

取組名：120　学校における方針決定の場への女性参画の促進

４ 審議会の意見

全課を対象とした取組について

本市では、男女共同参画の推進に当たり、各自の業務に即した具体的な視点を確認できるように、令和４年度に男女共同参画の視点チェックシート[3]を作成した。その内容について全職員が自己チェックを行い、その結果をもとに、不十分な点を認識、改善し、業務に当たるよう、所属長を中心として職員の理解促進、意識醸成を図っている。

１ 取組内容

■ 男女共同参画の視点に立った表現の推進：基本目標１基本方向（3）

・ 市の情報発信において、男女共同参画の視点から確認し、性別に基づく固定的な役割分担意識にとらわれない表現を推進。

■ 性の多様性に関する市職員の理解の促進及び当事者への適切な対応：基本目標１基本方向（4）

・ 毎年度、新入職員及び新任課長を対象として性の多様性に関する研修を実施。職員のための性の多様性への理解促進に向けたハンドブックを周知、活用。

■ 男女共同参画の視点に立った施策の点検と実施：基本目標5基本方向（2）

・ 性別を理由として役割を固定的に分ける考え方や、性別に関する無意識の思い込みが自分の中に存在する可能性に気づき、それを解消する必要性を理解した上で、事業を企画、制度を構築。

■ 性別記入欄の必要性の確認：基本目標5基本方向（2）

・ 市の申請書や証明書などの性別記入欄について、法的な根拠や事務執行上の支障がない場合は、不必要な性別欄を設けることがないようにするとともに、不適切なものがないか点検。

２ 審議会の意見（全体に関する事項）

[3] 参考資料「男女共同参画の視点チェックシート」（P12～P13） 参照

参考資料

男女共同参画の視点チェックシート

NO	所管事務	該当	確認内容	確認	【参考】例えば、こんなことはありませんか？	参考資料
1	市民応対を行う業務がありますか。		①性別を理由として役割を固定的に分ける考え方や、性別に関する無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が自分の中に存在する可能性に気づき、それを解消する必要性を理解した上で、市民応対を行っている。		「どの家庭でも女性が家事や育児をしている」といった「女性は〇〇である」という性別に関する思い込みのもと、市民応対を行っていませんか。	A 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）チェックシート・事例集（内閣府）／B 枚方市職員のための性の多様性への理解促進に向けたハンド
					「どの家庭でも男性が仕事をして家計を支えている」といった「男性は〇〇である」という性別に関する思い込みのもと、市民応対を行っていませんか。	
			②性の多様性、SOGI（性的指向、性自認）を理解し、尊重する姿勢を持ち、市民応対を行っている。		「体の性と心の性は一致している」「性別は女性か男性のどちらか」という前提で、市民応対を行っていませんか。	
					「好きになる相手は異性」「パートナーは異性」という前提で、市民応対を行っていませんか。	
			③市民応対に当たり、DV、性犯罪、セクシュアルハラスメントなど性差別に基づく暴力の背景を理解し、暴力を容認しない姿勢を持ち、被害者のプライバシーの保護、二次被害の防止を徹底している。		DV は単なる夫婦喧嘩にすぎないという考え方のもと、被害者をさらに傷つける言動をとったり、被害者情報の取扱いを軽視したりしていませんか。	
					セクシュアルハラスメントを受ける方にも原因があるという認識のもと、被害者をさらに傷つける言動をとっていませんか。	
2	事業企画、制度構築を行う業務がありますか。		①性別を理由として役割を固定的に分ける考え方や、性別に関する無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が自分の中に存在する可能性に気づき、それを解消する必要性を理解した上で、事業の企画や制度の構築を行っている。 ※もともと男女に偏りがあるものを解消する目的で対象の性別を特定する場合は、差別的な取扱いには当たりません。 （例：父親向け子育て講座、女性のチャレンジ支援）		「どの家庭でも女性が家事や育児をしている」といった「女性は〇〇である」という性別に関する思い込みのもと、事業の企画や制度の構築を行っていませんか。	A B
					「どの家庭でも男性が仕事をして家計を支えている」といった「男性は〇〇である」という性別に関する思い込みのもと、事業の企画や制度の構築を行っていませんか。	
					合理的な理由なしに、参加機会、利用しやすさ、効果などがいずれかの性別に偏る事業の企画や制度の構築を行っていませんか。※	

			②性の多様性、SOGI（性的指向、性自認）を理解し、尊重する姿勢を持ち、事業の企画や制度の構築を行っている。		「体の性と心の性は一致している」「性別は女性か男性のどちらか」という前提で、事業の企画や制度構築を行っていませんか。	
					「好きになる相手は異性」「パートナーは異性」という前提で、事業の企画や制度構築を行っていませんか。	
3	ホームページ、配布物等で市民に情報発信を行う業務がありますか。		①登場人物、回数が男女いずれかに偏った表現を行っていない。		複数の登場人物の中で女性又は男性が一人もいないか、極端に少なくなっていませんか。	男女共同参画社会の実現をめざす表現ガイドライン（大阪府）／男女共同参画に関するフリーイラスト素材（内閣府ホームページ）
			②性別によってイメージを固定化した表現を行っていない。		いつも女性はスカートやエプロン、男性はスーツにネクタイ姿になっていませんか。	
			③性別によって主従、上下、優劣、強弱の関係を固定化した表現を行っていない。		いつも指示や命令をする側は男性、指示や命令を受ける側は女性になっていませんか。	
			④性別によって役割を固定化した表現を行っていない。		医師、弁護士、議員、消防士、運転士、警備員はいつも男性、看護師、受付、保育士、栄養士、客室乗務員はいつも女性になっていませんか。	
			⑤人物などの外見だけを強調した表現を行っていない。		伝えたい内容とは関係なく、興味を引くためだけに、若さや性的側面などの外見のみを強調する表現になっていませんか。	
			⑥男女の扱いが異なる表現を行っていない。		サラリーマンや営業マンなど、男性しか念頭に置いていないと誤解されかねない言葉を使っていませんか。	
					女医、女社長など、女性を表す言葉で、男性を表す対語のない言葉を使っていませんか。	
4	就業環境について、全課においてチェックしてください。	全課該当有	職場の一員として、性別にかかわりなく誰もが平等に機会を与えられ、能力を発揮できる就業環境の形成に努めている。		育児期間中の女性職員は重要な仕事を担当すべきでないと、決めつけていませんか。	A B
					仕事より育児を優先する男性職員は仕事へのやる気が低いと、決めつけていませんか。	
					「体の性と心の性は一致している」「性別は女性か男性のどちらか」という前提で、職場のメンバーと接していませんか。	
					「好きになる相手は異性」「パートナーは異性」という前提で、職場のメンバーと接していませんか。	

第３次枚方市男女共同参画計画改定版アクションプログラム後期　令和３年度（2021年度）～令和７年度（2025年度）　指数の推移

基本目標１　人権尊重と男女共同参画への意識改革

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績 令和６年度（2024年度）	後期アクションプログラム目標 令和７年度（2025年度）	所管課
男女の平等感	1	社会全体で男女が平等であると思う人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性9.6% 男性23.4%		増加	人権政策室
固定的な性的役割分担意識に同意しない人の割合	2①	「男は仕事、女は家庭」という考えに「同感しない」又は「どちらかといえば同感しない」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性66.4% 男性57.2%		増加	人権政策室
	2②	「子どもが小さいうちは、母親は仕事をしないで、子どもの世話をしたほうがよい」という考えに「同感しない」又は「どちらかといえば同感しない」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性38.2% 男性28.8%		増加	人権政策室
	2③	料理、掃除、洗濯などの家事を「男の人と女の人が協力してするのがよい」と考える人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	<小学生>女子73.1%、男子57.5% <中学生>女子80.2%、男子56.6% <高校生>女子81.9%、男子68.3% <大学生>女性92.1%、男性81.9%		増加	人権政策室
	2④	子どもが小さいときの子育てを「男の人と女の人が協力してするのがよい」と考える人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	<小学生>女子73.6%、男子60.8% <中学生>女子78.4%、男子62.8% <高校生>女子85.8%、男子73.2% <大学生>女性90.9%、男性81.9%		増加	人権政策室
	2⑤	お金を稼ぐ仕事を「男の人と女の人が協力してするのが良い」と考える人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	<小学生>女子63.5%、男子43.8% <中学生>女子66.1%、男子45.1% <高校生>女子74.4%、男子51.3% <大学生>女性78.3%、男性62.7%		増加	人権政策室

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績 令和６年度（2024年度）	後期アクションプログラム目標 （令和７年度（2025年度））	所管課
「男女共同参画社会」の認知度	3	「男女共同参画社会」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性61.5% 男性69.1%		78.00%	人権政策室
「女子差別撤廃条約」の認知度	4	「女子差別撤廃条約」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性49.7% 男性50.0%		60.00%	人権政策室

基本目標２　男女共同参画を阻害する暴力の根絶

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績 令和６年度（2024年度）	後期アクションプログラム目標 令和７年度（2025年度）	所管課
DVに対し誤った認識をしている人の割合	5①	「暴力を受けている人は逃げようと思えば、いつでも逃げ出せるはず」と考える人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性19.5% 男性11.6%		減少	人権政策室
	5②	「暴力をふるわれた人にも、何らかの原因があるので、暴力をふるう人を一方的には責められない」と考える人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性11.6% 男性20.0%		減少	人権政策室
DVを正しく理解している人の割合	6①	夫婦間における「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたり、ひきずりまわしたりする」行為を「どんな場合でも暴力にあたると思う」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性96.5% 男性93.8%		増加	人権政策室
	6②	夫婦間における「大声でどなったり、なぐるふりをして相手を脅したりする」行為を「どんな場合でも暴力にあたると思う」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性74.8% 男性65.9%		増加	人権政策室

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績 令和６年度（2024年度）	後期アクションプログラム目標 令和７年度（2025年度）	所管課
デートDVに対する認識	7①	男女交際について「相手がいやがっているのに無理やりキスしたり、体をさわったりする」行為を「へんだと思う」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	＜中学生＞ 女子98.7% 男子92.9% ＜高校生＞ 女子96.9% 男子94.6%		増加	人権政策室
	7②	男女交際について「友人とのつきあいをいやがったり、禁止したりする」行為を「へんだと思う」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	＜中学生＞ 女子95.2% 男子89.4% ＜高校生＞ 女子91.7% 男子89.7%		増加	人権政策室
「デートDV」の認知度	8	「デートDV」という言葉を「知っている」又は「聞いたことがある」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	＜中学生＞ 女子59.1% 男子44.2% ＜高校生＞ 女子89.0% 男子85.8% ＜大学生＞ 女性70.8% 男性57.2%		中学生 80.0% 高校生100.0% 大学生 77.0%	人権政策室
過去１年間に配偶者からの暴力を経験した人の割合	9	過去０年間に配偶者から身体的暴力、精神的暴力、性的暴力のいずれかを受けたことがある人の割合（別居中の配偶者、元配偶者（離別、死別した相手）も含む）	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	・身体的暴力 女性9.6% 男性11.7% ・精神的暴力 女性19.2% 男性17.5% ・性的暴力 女性11.5% 男性2.9%		減少	人権政策室

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値 令和元年度（2019年度）	実績 令和６年度（2024年度）	後期アクションプログラム目標 令和７年度（2025年度）	所管課
交際相手からの暴力を経験した人の割合	10	身体的暴力、精神的暴力、性的暴力のいずれかを受けたことがある人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・学生	・身体的暴力 ＜高校生＞女子0.0%、男子3.3% ＜大学生＞女性5.6.%、男性5.3% ・精神的暴力 ＜高校生＞女子4.5%、男子6.7% ＜大学生＞女性11.3%、男性9.5% ・性的暴力 ＜高校生＞女子6.4%、男子2.5% ＜大学生＞女性11.8%、男性4.3%		減少	人権政策室
DV相談窓口の周知度	11	DV被害を受けたときの相談窓口をひとつも知らない人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性4.4% 男性2.5%		0.00%	人権政策室
枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」の周知度	12	「枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性28.9% 男性17.5%		50.00%	人権政策室
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）の認知度	13	「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性89.6% 男性89.7%		100.00%	人権政策室

基本目標３　仕事と生活のあり方をさまざまに選択できる社会づくり

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値　令和元年度（2019年度）	実績					後期アクションプログラム目標　令和７年度（2025年度）	所管課
					令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）	令和７年度（2025年度）		
安心して子育てできる環境が整っているか	14	枚方市は安心して子育てできる環境が整っていると感じている人の割合	市民意識調査	44.5%	ー （R3実施なし）	45.8%				増加	企画課
保育所等利用待機児童数 ※施策番号42	15	国の定義による保育所等の利用待機児童数 （4月1日現在）		0人	0人	9人				0人	私立保育幼稚園課
留守家庭児童会室待機児童数 ※施策番号51	16	留守家庭児童会入室の待機児童数（当該年度１月末現在）		３人	94人	0人				0人	放課後子ども課

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値　令和元年度（2019年度）	実績					後期アクションプログラム目標　令和７年度（2025年度）	所管課
					令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）	令和７年度（2025年度）		
介護保険施設等の施設数	17	特別養護老人ホームなど介護保険施設等の施設数	ひらかた高齢者保健福祉計画21（第８期（R3～R5年度）のR5年度の目標数値	86施設	88施設	87施設				93施設	長寿・介護保険課
育児休業を取得した男性職員数 ※施策番号70	18	育児に伴う休暇・休業を1月以上取得した男性職員の割合（庁内）		47.5%	89.2%	※				100%	職員課
ワーク・ライフ・バランスの認知度	19	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合	男女共同参画に関する市民アンケート調査・一般	女性55.1% 男性63.4%	ー （R3実施なし）	ー	ー		ー	71%	人権政策室

※指標番号18については育児休業の対象となる子が１歳を迎えるまでであるため、前々年度に取得した職員の割合が最新の値となる。

基本目標４　だれもが安心して暮らせるまちづくり

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値　令和元年度（2019年度）	実績					後期アクションプログラム目標　令和７年度（2025年度）	所管課
					令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）	令和７年度（2025年度）		
安心して妊娠、出産できる環境が整っているか	20	枚方市は安心して妊娠、出産できる環境が整っていると感じている人の割合	市民意識調査	38.5%	ー （R3実施なし）	40.2%				増加	企画課
乳がん、子宮頸がん検診受診率 ※施策番号75	21	乳がん検診対象者：40歳以上の女性（2年に1回の受診）		13.7%	12.2%	9.5%				50.00%	健康づくり・介護予防課
		子宮頸がん検診対象者：20歳以上の女性		17.0%	17.3%	13.3%				50.00%	
妊娠11週以下での妊娠の届出率	22	妊娠11週以下での妊娠の届出数／全届出数	「第2次枚方市健康増進計画」の令和5年度（2023年度）目標より	96.9%	96.6%	96.6%				97.0%	母子保健課
特定健康診査受診率 ※施策番号74	23	高齢者の医療の確保に関する法律に定める特定健康診査の受診者／対象者（国民健康保険に加入する40歳以上75歳未満の者）	「枚方市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画 第2期データヘルス計画」の令和5年度（2023年度）目標より	33.7%	31.2%	33.3% （6/1速報値）				50.0%	健康づくり・介護予防課

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値　令和元年度（2019年度）	実績					後期アクションプログラム目標　令和７年度（2025年度）	所管課
					令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）	令和７年度（2025年度）		
こころの病気に関する相談窓口の周知度 ※施策番号77	24	こころの病気に関する相談窓口を知っている人の割合	市民意識調査	26.1%	ー （R3実施なし）	40.3%				50.0%	企画課
ひとり親家庭の自立支援に関する給付金受給者のうち就職した人数 ※施策番号63・91	25	ひとり親家庭を対象とした自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の受給者のうち就職した人数（累計）		71人	13人	5人				144人	子ども相談課
枚方市防災会議の女性委員の割合 ※施策番号113	26	枚方市防災会議の委員に占める女性の割合		15.0%	15.0%	16.6%				30.0%	危機管理政策課

基本目標５　男女共同参画を推進する体制の整備

指標	指標番号	指標の説明	出典	後期アクションプログラム策定時の値　令和元年度（2019年度）	実績					後期アクションプログラム目標　令和７年度（2025年度）	所管課
					令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）	令和７年度（2025年度）		
管理職に占める女性の割合 ※施策番号119	27	市役所における女性管理職／全管理職（４月1日現在）		24.3%	26.2%	26.1%				30.0%	人事課
審議会等への女性委員登用率 ※施策番号117	28	市役所における女性委員比率が35.0％を達成している審議会等／全審議会等		55.2%	55.3%	68.1%				100.0%	全課

令和4年度（2022年度）
第3次枚方市男女共同参画計画改定版アクションプログラム進捗状況

発行　　令和5年（2023年）●月
事務局　枚方市市長公室人権政策室
住所：〒573-8666　枚方市大垣内町2丁目1番 20 号
電話：072-841-1424／ファクス：072-841-1700